



【学校教育目標】社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

令和 5 年 7 月 3 日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田 智典

泉だより

No.4



## 前期課程 教科担任制について

現在、全国の小学校で教科担任制やチーム担任制の導入が始まっています。東山泉では五・四制の義務教育学校の強みを生かし、6年生は後期課程に準ずるような教科担任制を取り入れ、また5年生では6年生になだらかに移行出来るように他の小学校に比べ多くの教科で教科担任制を取り入れてきました。そして今年度からは4年生、3年生についても教科担任制を多くの教科で実施しています。今月号では3年生の教科担任制について紹介します。



社会：2組担任の鈴木先生が3組4組の社会科を教えています。



英語：3組担任の津阪先生が2組4組の英語を教えています。



体育：4組担任の西浦先生が2組3組の体育を教えています。



音楽：3組担任の津阪先生が2組4組の音楽を教えています。



理科：専科教員の速水先生が2組3組4組の理科を教えています。

教科担任制は子どもたちが様々な先生から専門的な教科指導を受けることが出来、先生方も一つの教科を掘り下げて子どもたちに教えられるメリットがあります。今後、このような流れは全国的にも広がっていきそうです。

教科担任制：専科教員のほかに担任の先生が特定の教科を横持ちする制度。子どもたちが様々な教員から専門的な教科指導を受けることが出来る。

チーム担任制：学級担任をなくし、学年の担任として学年全体の子どものに関わる制度。複数の教員の目で子どもを多面的に見ることが出来る。

## 3年生社会見学記録

5月18日、社会科見学に行きました。3年生社会科「京都市の様子」の学習の中で、京都市全体の様子はどのようになっているのか、京都駅の屋上から実際に観察して調べることがめあてです。

まず、京都駅まで歩き、屋上まで上がりました(予想外の暑さとなりましたが、子どもたちはみんな頑張りました!!)。屋上から、方位磁針を片手に京都市の南側を観察しました。すると…「京都駅から見て南東のほうに、城跡が見えるよ。」と、伏見のほうの様子まで気付く子がいました。また、「南西のほうに、四重の塔があるよ。お寺かな。」「すぐ南側の下に、何本も線路が通っているよ。」「JR だけだと思っていたら、近鉄と書いてあるよ。いろいろな電車が通っているんだね。」など、普段は気が付かないような京都駅周りの様子を、上から見ることによって知ることもできました。



社会見学後の振り返りより

「京都駅の東側には大きな山がありました。遠くから見ると大文字山よりも大きな山でした。」

「京都駅の南側には、高速道路がありました。高速道路だからでかいと思ったら意外と道が細かったです。」

「京都市の北側に、京都タワーを囲むように寺がありました。」

「京都駅から見ると、金閣寺のほうの大文字山と、銀閣寺のほうの大文字山は、大きさが違いました。思っていたより、小さいなと思いました。」

次に、屋上から空中経路へ移動し、京都駅から北側の

ほうを観察しました。すると、「北西のほうに大文字の大という字が見えるよ。」「京都駅のすぐ北側のほうに、いくつも大きな古い建物が見えるよ。お寺かなあ。」「北東に赤い鳥居が見えるよ。大きな鳥居かな。」「東のほうに大きな仏様が見えるよ。あれはどこだろう。」など、たくさんの特徴的な建物に気づくことができました。また、「京都市の北のほうは、ぐるっと山に囲まれているね。」「家もたくさんあるよ。」など、京都市全体の特徴に気づくこともできました。

学校に戻り、授業の中で振り返りを書きました。「京都市は、神社が多くて山も多い場所でした。」「神社やお寺が多くて、城跡もあって、歴史のある場所とわかりました。」など、実際に見たからこそ、実感のこもった振り返りがたくさん出てきました。この気づきを元に、更に学習の中で、地図や資料を使って、京都市の様々な場所(京北・久世・洛西ニュータウン・木津川宇治川等)の調べ学習を進めていきました。